

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.45	02	私と海老名 その9	07
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	08
HUGHUG子育て	04	相談	09
市民の広場	07	図書館	10

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 園時間 場場所 函対象 定定員
 函内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール Hホームページ 問問合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

書道と海老名が好きなので書きました。
 柏ヶ谷小学校 杉山春陽さん(10歳)



写真

タイトル：秋色の候
 撮影場所：勝瀬地区
 撮影者：中新田在住
 森田正廣さん



編集雑記

市制施行50周年に向けて連載している「私と海老名」。今回伺った市制施行前から現在までの東柏ヶ谷の変遷は、海老名歴約10年の私には新しく、貴重なお話でした。この連載もあと2回。海老名が変わっていく良さ変わらぬ良さ。それぞれの方の思いを皆さんと共有し、海老名の魅力が広がることを願います。(M)



地域を盛り上げて住民の絆を強めたい

育った東柏ヶ谷でさまざま地域活動をしている吉田さん。6年前には地域を盛り上げようと、かつて踊りを復活させました。約65年前に地域の青年団が始めたかつての踊りは、この地で盛んに行われていたといいます。「昔やっていたなら地域の伝統的な踊りという認識でやろうと。全く縁のない世界で今でも踊るのは恥ずかしいけど、目的は地域活性化。続けていかなければ伝統も何もないからね」と、地域を盛り上げるために余念がありません。有志を募って始めた児童の下校の見守り活動も、子どもたちの成長と人とのつながりを実感できる場です。

吉田さんを多くの活動へと動かす一つに「誰かの役に立ちたい」という思いも。「戦後の大変な時代を経験しました。いろいろなやってきたからつかみどころがない人生だな、と思う時もあるけどね」と、穏やかに振り返ります。これからも住民同士の絆づくりに吉田さんの活動は続きます。



見守り
メンパーと共に下校時の安全を守る

「大家ふるさとまつり」でかつての踊りを披露

今月のえび人

吉田茂男さん
 (東柏ヶ谷在住・79歳)

これまで東柏ヶ谷二丁目自治会長、東柏シニアクラブ会長、民生委員・児童委員などを務める。「横浜いのちの電話」で活動した12年間を原点にボランティア精神が醸成される。